

PTA会長挨拶

PTA会長 森山しげる

日頃よりPTA活動にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。

感じておられると思いますが、今年もあつという間に終わろうとしていきます。皆さんはどんな一年でしたでしょうか。

私のスマホに一つのメッセージが飛び込んできたのは忘れもしない、2022年2月22日戌の刻でした。

PTA会長をお引き受け頂けないでしょうか？

かくれんぼの鬼に、最後の最後で見つかったしまった気分でした。

今までも、このようなシーンは数多くありました。特に子どもたちの幼・小時代は、小規模校ならではの目に見えない決まりや順番があり、万年役員といった状況でした。(さすがに高校ではないだろう)と油断し

きつていたからです。役員改選はどんな時も、何とも言えない空気の中であれやこれやと心理戦を繰り広げます。いかに存在感を消すか、いかに重役から逃れるか。時に、緊張・苛立ち・駆け引き。この時以上に、人間性が浮き彫りになることがある

だろうか。と思わずにいられない時もありました。このような感じで、やりたくない人が九割役員にならなかつた人が胸をなでおろして帰る。私もまたそんな一人だったかもしれません。

(あくならなくて良かった!)
今思えば
果たして・・・本当に良かったのはどっちなのかな?

仕事でもないことに時間を割いて、面倒なことや大変なことをただの「負担」ととるか。はたまた、限られた時間に限られた人と関わりをもてることを「幸運」ととらえるか。

子どもに対して親は、自分以上の人間性を求めています。少なくとも私はそうで

(嫌なことでも進んでやってほしい) (人の役に立ってる人になってほしい)と願うわけですが、自分は大人になったからといってそれができないのです。頭では分かっているけど、ついサボる。ダイエツトと同じです。なので今回、大役を引き受けたことは子どもに対して何かしら背中を見せられたかな。という自己満足に浸っています。何が言いたいかと言いますと、PTAに関わることを「面倒」なことだと捉えないで頂きたいということです。子どもの卒業まで残り三ヶ月。今後二度と関われないくなるPTA活動の終盤に差し掛かり一段と感ずるので

『役員』だからといって大きな責任を背負いすぎなくても、手伝ってくれる人がたくさんいます。見ての通り、頼りない私ですが、まわりの方のサポートのおかげで各行事がスムーズに楽しく運営できました。また、積極的に学校と関わることで、子どもの立場で物事を見る事ができたり、思いがけず先生方の

熱い想いを知ることができたり、新しい出会いも多くありました。関わらないと絶対に分からない、出会えないことだらけです。

自分が動くことで人間関係が豊かになり、繋がりを深められたら良い出会いがあり、良い出会いは自分の運氣も上昇させてくれる。結果的に全て自分に返ってくる気がします。どうか『損して徳とれ』の精神で、PTA活動に関われることを「幸運」に変換して頂き、子ども達や先生と共に、かけがえのない

『今』を徳を積みながら謳歌してください。今後も末永く益々の吉田高校の発展と子どもたちの大活躍を祈念しています。

見たいもの・聞きたいこと

教頭 中川 和彦

保護者等の皆様方には、日頃より本校教育の充実・発展のために御協力いただきありがとうございます。今年立冬を過ぎても暖かい日が続いておりまして、師走に入り、急に寒さが厳しくなりました。年末から年度末にかけて、何かと慌ただしいことと存じますが、引き続きよろしくお願いいたします。

さて話は変わりますが、人外界からの情報を受ける際に、8割以上を視覚から得ていると言われています。「百聞は一見に如かず」ということわざにもあるように、五感の中でも視覚は非常に大きな役割を果たしています。英語にも "Seeing is believing." という表現があり、古今東西を問わず、人に共通する特徴だと言えそうです。それ

故、人は自分の目を通して見えるものは、紛れもない事実だと考えます。ところが、どうでしょうか。自分の目に映るものが、周囲の人にとつての事実とは異なる可能性があるとしたら

私たちの目や脳は、目の前にあるすべてのものを感知し、認識しているように思われがちですが、実は選択したものを知覚しているということが多くの実験で実証されています。人は現実のすべてを見ているわけではなく、「見たいもの」を見ているそうです。私たちの脳には、普段から意識しているものを優先的に知覚し、そうでないものは見落とす傾向があるということです。私自身の体験でも、約2年前に吉田高校への赴任が決まった途端、新聞や雑誌の中の「吉田」という文字が、急に目に飛び込んでくるようになったり、テレビやラジオから聞こえてくる「よしだ」という音に敏感に反応するようになったりしました。おそらく皆さんにも、同じような経験があるのではないのでしょうか。

また、人はだれでも自分にとって都合のよい情報や、自分が正しいと思う考えを肯定する情報、つまり「見たいもの・聞きたいこと」を無意識のうちに優先的に取り入れ、自分の考えを強化するきらいがあるそうです。この傾向を心理学では「確認バイアス」と呼びます。身近なところでは、「O型の人は大らかで、小さいことは気にしない」などの科学的根拠のない思い込みも確認バイアスの一種です。

このほかにも、過去に人間関係で傷ついたことがあると、再び傷つくことを避けるために「私は人から好かれたい」と思い込み、人と距離を置こうとする傾向として表れることもあります。褒められても素直に喜べなかつたり、ヒソヒソ話をして

いる人を見て「私の悪口を言っている」といった判断をしたりするものもこの類です。「確認バイアス」は人の視野を狭め、思考や行動を偏らせてしまっています。私たち大人世代が注意しておかなければならない

ことは、年齢を重ねて責任の重さが増すにつれて、この影響を受けやすくなるということです。公正を期すべき場面で、一部の情報しか見えない、聞こえないでは判断を誤ることになりかねません。親や教職員等の言動は後々まで子どもや生徒の考え方に影響を与える可能性が大いにあります。日頃から意識して「見たくないもの・聞きたくないこと」を受け入れようとする気持ちを持つておきたいものです。

7月27・28日に広島市中小企業会館(広島市)で開催された第17回若年者ものづくり競技大会(建築大工職種)に、二年機械建築工学科の和泉閣也さん(城北中出身)が出場しました。この大会は、職業能力開発施設工業高等学校等において、技能を習得中の20歳以下の若年者を対象とした大会で、建築大工職種には全国から30人が出場しました。職業能力開発施設や大学等の学生も多く、レベルの高い大会となりましたが、銅賞に入賞することができました。

建築部W受賞

高校生ものづくりコンテスト
全国大会 木材加工部門



若年者ものづくり競技大会
建築大工職種

7月27・28日に広島市中小企業会館(広島市)で開催された第17回若年者ものづくり競技大会(建築大工職種)に、二年機械建築工学科の和泉閣也さん(城北中出身)が出場しました。この大会は、職業能力開発施設工業高等学校等において、技能を習得中の20歳以下の若年者を対象とした大会で、建築大工職種には全国から30人が出場しました。職業能力開発施設や大学等の学生も多く、レベルの高い大会となりましたが、銅賞に入賞することができました。

11月16・17日に富山市民プラザ(富山市)で開催された第22回高校生ものづくりコンテスト全国大会(木材加工部門)に二年機械建築工学科の岩城迅さん(城東中出身)が四国ブロック代表として出場しました。この大会は全国のプロック優勝者が出場する大会で非常に高レベルの技術が要求されます。結果は、上位数名が高得点と僅差の争いになりましたが、三位に入賞することができました。



愛媛県高等学校新人大会等結果

野球部

南予地区高等学校野球新人大会
 一回戦 吉田 8-3 野村
 二回戦 吉田 11-2 八幡浜
 準決勝 吉田 3-2 八幡浜
 秋季四国地区高等学校野球南予地区予選
 吉田 4-9 宇和島東



サッカー部

全国高等学校サッカー選手権愛媛県大会
 吉田 0-4 大洲



バレーボール部 男子

南予選手権大会
 吉田 2-0 宇和
 吉田 2-1 八幡浜
 吉田 0-2 川之石
 (南予地区準優勝)
 全日本高等学校選手権大会
 吉田 0-2 南宇和
 バレーボール部 女子
 南予選手権大会
 吉田 0-2 宇和島東
 吉田 0-2 八幡浜

バスケットボール部

南予地区高等学校1・2年生大会
 吉田 50-72 八幡浜工
 吉田 72-65 内子
 愛媛県選抜大会南予地区予選
 男子団体出場
 女子団体出場
 男子個人出場
 女子個人出場
 体育の日記念宇和島市民大会
 男子団体第3位入賞
 男子個人第2位 酒井隆介

弓道部

愛媛県選抜大会南予地区予選
 男子団体出場
 女子団体出場
 男子個人出場
 女子個人出場

卓球部

愛媛県高等学校卓球新人大会
 「男子団体」
 吉田 3-1 大洲
 吉田 0-3 三崎(県大会出場)
 吉田 2-3 北宇和
 「男子シングルス」
 山崎ベスト16(県大会出場)
 山崎 0-3 井上(松東)

陸上競技部

愛媛県高等学校陸上競技新人大会
 渡邊拓 一般砲丸投 9 m 68 (5位)
 藤森 走高跳 1 m 55 (6位)
 片岡大 棒高跳 3 m 30 (5位)
 松岡 400m・400mH 出場
 宮本 1500m 出場
 川崎 1500m 出場
 北川 100m・200m 出場
 土居 100m 出場
 渡邊潤 砲丸投 出場
 本田 走高跳 出場
 四国西南地域陸上競技大会
 藤森 走高跳 1 m 55 (1位)
 片岡大 棒高跳 3 m 30 (1位)
 渡邊拓 砲丸投 10 m 74 (1位)
 渡邊潤 砲丸投 9 m 12 (4位)
 本田 走高跳 1 m 40 (1位)

ソフトテニス部 男子

夏季大会県大会「個人戦」
 日野・上野 0-4 今治北
 新人戦県大会「個人戦」
 上野・日野 1-4 松山北
 ソフトテニス部 女子
 夏季大会県大会「個人戦」
 前田・井上 0-4 聖カ
 団体戦予選リーグ
 吉田 3-0 松山西
 吉田 0-3 今治北
 新人戦県大会「個人戦」
 井上・前田 3-4 今治北
 団体戦
 吉田 0-3 西条

剣道部

新人戦県大会
 個人戦
 國安 コ・メ 延長戦メ
 一回戦敗退
 団体戦
 吉田 0-3 松山聖陵

進路状況

進路課長 松本 淳

一 就職状況について

本年度の就職希望者は学校紹介34名、縁故3名、公務員1名、自営3名の計41名(卒業予定者の約36%)となっており、昨年より減少しています。科別の就職希望者の割合は、普通科約19%、工業科は約52%となっています。一方求人状況は、10月末時点で延べ1438名の求人をいただきました。学校紹介による就職希望者の一次応募内定率は97.1%と昨年を上回ることでございました。現状では、学校紹介からの変更や進路変更等により決定していない者もいます。未決定の生徒については引き続き家庭と学校とが連携した就職指導を継続していきたいと考えています。

二 進学状況について

本年度の進学希望者は、4年制大学23名、短期大学3名、専修・各種学校48名の計74名(卒業予定者の約64%)です。科別の進学希望者の割合は普通科で約81%、工業科は約48%となっています。現在、総合型選抜や学校推薦型選抜が終わり、4年制大学3名、専修・各種学校39名が合格しています。今後、大学入学共通テストを受験する生徒や一般入試等に臨む生徒がいるので、できる限り本人の望む進学先に合格できるように指導していきたいと思っております。

就職状況



科	在籍数	就職者数			小計	進学者数			
		学校紹介	公務員	縁故・自営・その他		大学	短大	専修・各種・その他	小計
普通科	57	8	0	3	11	12	3	31	46
機械建築工学科	32	13	1	3	17	4	0	11	15
電気電子科	26	13	0	0	13	7	0	6	13
合計	115	34	1	6	41	23	3	48	74

PTA専門委員会

- 文化・人権委員会
 - 委員長 青木 広樹(副会長)
 - 副委員長 木野下 繁(監事)
 - 副委員長 酒井 功人(監事)
- 保健・補導委員会
 - 委員長 高山 久詞(副会長)
 - 副委員長 中村 尚子(副会長)
 - 副委員長 林 志保(副会長)

残りわずかとなりましたが、よろしくお願ひします。

